

平成22年度 施策評価 1次評価

施策名	学校教育の充実
-----	---------

担当部局	担当部局長の氏名
教育委員会事務局	吉岡喜代和

PLAN

総合計画(前期基本計画)

基本方針	(政策)	IV 生涯学習都市						
計画項目	(施策)	② 学校教育の充実						
施策目的	(何を対象に、どのようにすることを目的としているか)	京丹後市の次代を担う子どもたちのために、安全で快適な教育環境づくりを進め、学校教育の充実を図る。						
めざす目標	安全で快適な教育環境をめざします	指標名	総合計画策定時(H17)	前期基本計画最終実績値	目標			
		旧耐震基準の校舎	17校	H16	25校	H21	12校	H26
		保健室、図書室の空調化	8校	H16	全校、7校	H21	全校	H26

※参考 後期基本計画 めざす目標	安全で快適な教育環境をめざします	指標名	総合計画策定時(H17)	後期基本計画策定時	目標			
		旧耐震基準の校舎	17校	H16	25校	H21	12校	H26
		調理室の空調化	新規	-	7校	H21	全校	H26
		図書室の空調化	新規	-	3校	H21	全校	H26

DO

平成21年度実績

施策方針	事務事業	H21決算額 (千円)	内、 一般財源 (千円)	事務事業評価の結果				担当課
				目標 達成度	効率性	事業内容の 方向性	事業規模の 方向性	
2 学校教育施設の整備・充実	1 小学校施設改修事業	13,006	13,006	▲	○	維持	拡大	教育
	2 小学校施設耐震診断事業	12,612	7,718	○	○	維持	維持	教育
	3 小学校スクールバス運行管理事業	17,328	17,273	○	○	維持	拡大	教育
	4 小学校スクールバス購入事業	10,271	1,047	○	○	維持	拡大	教育
	5 小学校施設管理事業	49,338	49,338	▲	○	維持	拡大	教育
	6 中学校施設改修事業	2,474	2,474	▲	○	維持	拡大	教育
	7 中学校施設耐震化事業	42,069	11,060	○	○	維持	拡大	教育
	8 中学校スクールバス運行管理事業	30,599	28,529	○	○	維持	拡大	教育
	9 中学校スクールバス購入事業	13,097	1,197	○	○	維持	拡大	教育
	10 中学校施設管理事業	20,935	20,935	▲	○	維持	拡大	教育
	11 幼稚園施設改修事業	93	93	▲	○	維持	拡大	教育
	12 幼稚園施設管理事業	1,385	1,385	▲	○	維持	拡大	教育
	13 学校情報化推進事業	39,191	39,191	○	○	見直し	拡大	学校
3 学力の向上と心身の育成	14 外国語指導助手招致事業	26,735	26,735	○	○	維持	維持	教育
	15 指導主事設置事業	28,605	28,605	○	○	維持	拡大	学校
	16 学校保健事業	6,827	6,827	○	○	維持	維持	学校
	17 学校医委嘱事業	34,601	34,601	○	○	維持	維持	学校
	18 学務経費	3,087	3,087	○	○	維持	拡大	学校
	19 教科用図書採択事業	24	24	○	○	維持	維持	学校
	20 小学校管理運営事業	177,846	177,846	○	○	維持	維持	学校
	21 児童教職員健康管理事業	11,023	11,023	○	○	維持	維持	学校
	22 小学校教育振興事業	20,231	20,231	○	○	維持	維持	学校
	23 小学校教育振興備品整備事業	30,732	25,793	○	○	維持	維持	学校
	24 小学校就学援助事業	18,234	17,654	○	○	見直し	拡大	学校
	25 小学校教育推進事業	30,551	29,213	○	○	維持	維持	学校
	26 中学校管理運営事業	67,180	67,180	○	○	維持	維持	学校
	27 生徒教職員健康管理事業	6,290	6,290	○	○	維持	維持	学校
	28 中学校教育振興事業	30,646	30,646	○	○	維持	維持	学校
	29 中学校教育振興備品整備事業	20,072	16,656	○	○	維持	維持	学校

	30	中学校就学援助事業	22,448	22,003	○	○	見直し	拡大	学校	
	31	中学校教育推進事業	16,080	15,576	○	○	維持	維持	学校	
	32	幼稚園管理運営事業	14,727	12,551	○	○	維持	拡大	学校	
	33	園児等健康管理事業	262	262	○	○	維持	維持	学校	
	34	網野給食センター管理運営事業	34,741	34,741	○	○	維持	維持	学校	
	35	小学校給食管理運営事業	95,563	95,563	○	○	維持	維持	学校	
	36	中学校給食管理運営事業	44,005	44,005	○	○	維持	維持	学校	
	37	幼稚園給食管理運営事業	3,665	3,665	○	○	維持	維持	学校	
4	食育の推進	38	地元農産物の給食利用促進支援事業	950	0	○	○	維持	維持	学校
		39	学校給食地場農畜産物利用拡大事業	820	0	○	○	廃止等	縮小	学校
5	学校、地域の安全確保	40	学校安全対策事業	2,467	2,467	○	○	維持	拡大	学校
6	地域に開かれた学校づくり	41	学校支援地域本部事業	3,826	124	○	▲	維持	維持	社会
			計	1,004,636	926,614					



CHECK

評価	①施策の達成度 施策目的・めざす目標に向け、施策がどの程度達成されているか			
	○	◎ 予定以上に進んでいる	理由 耐震二次診断の加速的な実施など、安全で快適な教育環境整備に向けた取り組みを進めている。	
		○ 予定どおり進んでいる		
		▲ 少し遅れている		
		× 大幅に遅れている		
	②事業構成の有効性 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、平成21年度に実施した事務事業の構成が有効であったか			
	○	◎ 有効であった	理由 学校教育の充実のために、必要な事業構成となっている。	
		○ おおむね有効であった		
		▲ あまり有効でなかった		
		× 有効でなかった		
③事業の優先度 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、今後、優先度の高い事業と、優先度の低い事業は何か ※経常的及び任意的な事業の中から選出				
優先度 高い	事務事業		理由	
	1	小学校施設改修事業	施設全体の老朽化が著しい。今後も安全な小学校施設の確保に向け整備を行う必要がある。	
	6	中学校施設改修事業	施設全体の老朽化が著しい。今後も安全な中学校施設の確保に向け整備を行う必要がある。	
	7	中学校施設耐震化事業	耐震二次診断により、Is値0.7未満の施設については早急な耐震化工事の実施が必要である。	
	15	指導主事設置事業	学校教育の推進には、専門性を活かした学校への指示・指導が不可欠である。	
	22	小学校教育振興事業	小学校学校教育の充実のために、教材等の消耗品の購入、校外学習に伴うバスの借上げ等は必要である。	
	28	中学校教育振興事業	中学校教育の充実のために、教材等の消耗品の購入、校外学習に伴うバスの借上げ等は必要である。	
	優先度 低い	事務事業		理由
		14	外国語指導助手招致事業	中学校の英語授業及び小学校の英語活動を、より推進するための事業であるため。
		38	地元農産物の給食利用促進支援事業	地元産の農産物の利用を促進するという副次的な事業であるため。
39		学校給食地場農畜産物利用拡大事業	地元産の農畜産物の利用を促進するという副次的な事業であるため。	
40		学校安全対策事業	にこにこカーの運行に要する経費が主であり、地域住民による「見守り隊」活動等により補完の可能性があるため。	
41	学校支援地域本部事業	学校教育を、より円滑に実施するための事業であるため。		



ACTION

改善	今後の施策展開をどうするか	
	小学校30校、中学校9校という多くの学校が存在する本市においては、教育的観点はもとより、財政的な観点においても、学校再配置を見据えた施設の耐震化、改修、設備整備等、教育環境の整備・改善を計画的に実施していく必要がある。	

平成22年度 施策評価 1次評価

施策名	若者の育成
-----	-------

担当部局	担当部局長の氏名
教育委員会事務局	吉岡喜代和

PLAN

総合計画(前期基本計画)

基本方針	(政策)	IV 生涯学習都市				
計画項目	(施策)	③ 若者の育成				
施策目的	(何を対象に、どのようにすることを目的としているか)	京丹後市の将来を担う青少年が地域での体験活動等を通して地域への関心を高めるとともに、集団活動や地域の人々との交流により心豊かな人間形成の場づくりを進める。あわせて、青少年の関係団体への支援を通して、青少年の健やかな成長を見守り育てる活動を推進する。 また、京丹後市で生まれ育った若者の成人としての門出を祝う場として式典を開催する。				
めざす目標		指標名	総合計画策定時(H17)	前期基本計画最終実績値	目標	
	青少年の学校外活動の充実をめざします	地域子ども教室数	8箇所	H16 9箇所	H21 12箇所	H26
	若い力が活きるまちづくりをめざします	10代の若者のまちづくりへの参画機会	12回	H16 17回	H21 24回	H26
※参考 後期基本計画 めざす目標		指標名	総合計画策定時(H17)	後期基本計画策定時	目標	
	青少年の学校外活動の充実をめざします	地域子ども教室数	8箇所	H16 9箇所	H20 12箇所	H26
	若い力が活きるまちづくりをめざします	10代の若者のまちづくりへの参画機会	12回	H16 17回	H20 24回	H26

DO

平成21年度実績

施策方針	事務事業	事務事業評価の結果					担当課	
		H21決算額(千円)	内、一般財源(千円)	目標達成度	効率性	事業内容の方向性		事業規模の方向性
1 青少年の健全育成	1 青少年教育事業	3,787	3,787	▲	○	維持	拡大	社会
2 まちづくりへの若者の参加促進	2 成人式開催事業	1,682	1,682	○	○	維持	維持	社会
計		5,469	5,469					

CHECK

評価	①施策の達成度 施策目的・めざす目標に向け、施策がどの程度達成されているか	
	▲	理由 青少年を取り巻く社会環境を考慮し、地域、家庭、学校との連携による青少年の育成と地域で子供を守り育てる活動機会の拡大及び各種青少年団体の組織への支援が必要である。
	◎ 予定以上に進んでいる	
	○ 予定どおり進んでいる	
	▲ 少し遅れている	
	× 大幅に遅れている	
②事業構成の有効性 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、平成21年度に実施した事務事業の構成が有効であったか		
○	理由 青少年の体験活動や地域で子どもを守り育てる活動の拡大はまだ不十分であるが、施策の目的達成に向けた事業及び組織の活動支援は実施することができ、事業の内容はおおむね有効であった。	
	◎ 有効であった	
	○ おおむね有効であった	
	▲ あまり有効でなかった	
	× 有効でなかった	
③事業の優先度 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、今後、優先度の高い事業と、優先度の低い事業は何か ※経常的及び任意的な事業の中から選出		
優先度 高い	事務事業 1 青少年教育事業 理由 継続的に体験活動事業を実施するとともに、青少年を守り育てる関係団体への支援が必要である。	
優先度 低い	事務事業 2 成人式開催事業 理由 式典を実施するための最低限の事業である。	

ACTION

改善	今後の施策展開をどうするか
	京丹後市の将来を担う青少年が体験活動やボランティア活動、伝統文化の継承など積極的に地域活動への参加促進を図るとともに、その活動を通じて同年齢・異年齢の人々とふれあうなどの体験を深め、心豊かな人間の基礎づくりを行う場の拡充に努める。 また、引き続き京丹後市で生まれ育った若者の成人としての門出を祝う場として式典を開催する。

平成22年度 施策評価 1次評価

施策名	社会教育・スポーツの充実
-----	---------------------

担当部局	担当部局長の氏名
教育委員会事務局	吉岡喜代和

PLAN

総合計画(前期基本計画)

基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市						
計画項目 (施策)	④ 社会教育・スポーツの充実						
施策目的 (何を対象に、 どのようにすることを 目的としているか)	地域・地区公民館を中心として、地域住民のニーズや年齢及び課題に応じた学習機会の提供と文化、スポーツ、レクリエーションを通じた住民交流を促進するとともに、その機会の提供に努める。その他、社会教育・社会体育施設・設備の充実を図り、生涯学習の環境整備を推進する。						
めざす目標	だれもがいつでも学べる環境をめざします	指標名	総合計画策定時 (H17)		前期基本計画 最終実績値		目標
		地区公民館の適正配置	45カ所	H16	45カ所	H21	概ね各小学校区 に1カ所
		スポーツ実施率の向上	未調査	H16	未調査	H21	週1回、50% (全市民)
※参考 後期基本計画 めざす目標	だれもがいつでも学び活動できる環境をめざします	指標名	総合計画策定時 (H17)		後期基本計画 策定時		目標
		地区公民館の適正配置	45カ所	H16	45カ所	H20	公民館体制及び運営に関 する基本計画に定める数
		スポーツ実施率	未調査	H16	24.8%	H17	週1回、50% (成人)

DO

平成21年度実績

施策方針	事務事業	事務事業評価の結果						担当課
		H21決算額 (千円)	内、 一般財源 (千円)	目標 達成 度	効 率 性	事業内 容の 方向性	事業規 模の 方向性	
1 社会教育体制の確立	1 社会教育委員設置事業	790	790	▲	○	維持	拡大	社会
	2 社会教育指導員設置事業	22,227	22,227	○	○	維持	維持	社会
	3 峰山地域公民館管理事業	7,569	6,743	×	○	維持	拡大	社会
	4 大宮地域公民館管理事業	262	262	○	○	維持	維持	社会
	5 網野地域公民館管理事業	386	386	○	○	維持	維持	社会
	6 丹後地域公民館管理事業	7,062	6,938	▲	○	維持	維持	社会
	7 弥栄地域公民館管理事業	2,500	2,397	▲	○	維持	拡大	社会
	8 久美浜地域公民館管理事業	1,714	1,714	○	○	維持	維持	社会
	9 峰山地域公民館運営事業	3,656	3,285	○	○	維持	拡大	社会
	10 大宮地域公民館運営事業	2,681	2,644	○	○	見直し	拡大	社会
	11 網野地域公民館運営事業	3,170	3,096	○	○	見直し	維持	社会
	12 丹後地域公民館運営事業	2,515	2,494	○	○	見直し	拡大	社会
	13 弥栄地域公民館運営事業	2,625	2,587	○	○	維持	拡大	社会
	14 久美浜地域公民館運営事業	2,789	2,789	○	○	見直し	拡大	社会
	15 地区公民館管理運営事業	43,576	43,502	○	○	維持	維持	社会
	16 体育指導委員活動事業	3,839	3,839	○	○	維持	維持	社会
	17 社会体育団体育成事業	16,982	16,982	○	○	維持	維持	社会
	18 京都府民総合体育大会事業	1,602	1,602	○	○	維持	拡大	社会
	19 市民体育大会事業	3,300	3,300	○	○	維持	維持	社会
	20 地域スポーツ振興事業	4,708	4,708	○	○	維持	維持	社会
	21 青少年スポーツ教室事業	3,173	3,173	○	○	維持	維持	社会
	22 全国高等学校総合体育大会開催事業	11,147	11,147	○	○	廃止等	維持	社会
	23 体育施設管理運営事業	32,223	29,163	○	○	維持	維持	社会
	24 社会体育用学校開放施設管理運営事業	2,724	0	○	○	維持	維持	社会
2 図書館ネットワークの確立	25 図書館管理運営事業	48,673	48,673	○	○	維持	拡大	社会
	26 障害者教育事業	239	239	▲	○	見直し	拡大	社会
	27 成人教育事業	408	408	○	○	維持	維持	社会
	28 女性教育事業	486	486	▲	○	維持	維持	社会
	29 高齢者教育事業	84	84	▲	○	維持	拡大	社会

3 生涯学習推進体制の整備	30	家庭教育事業	1,568	1,164	○	○	維持	拡大	社会
	31	芸術文化事業	33,009	32,429	○	○	見直し	拡大	社会
	32	峰山いさなご施設管理運営事業	7,690	6,209	○	○	見直し	維持	社会
	33	マスターズビレッジ管理運営事業	17,824	15,796	○	○	見直し	維持	社会
	34	たちばな会館管理運営事業	1,449	1,449	○	○	維持	維持	社会
	35	網野教育会館管理運営事業	6,477	6,477	○	○	見直し	維持	社会
計			301,127	289,182					



CHECK

評価	① 施策の達成度 施策目的・めざす目標に向け、施策がどの程度達成されているか			
	▲	◎ 予定以上に進んでいる	理由 市民のだれもがいつでもどこでも必要に応じて学習や交流ができる生涯学習環境の中核となる公民館・図書館及びその他の社会教育施設と社会体育施設の施設及び運営体制等の条件整備が不十分である。	
		○ 予定どおり進んでいる		
		▲ 少し遅れている		
		× 大幅に遅れている		
	② 事業構成の有効性 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、平成21年度に実施した事務事業の構成が有効であったか			
	○	◎ 有効であった	理由 市民のさまざまなニーズに応えることができる効果的な事業の実施にはまだ不十分であるが、施策の目的達成に向けた事業は実施することができ、事業の内容はおおむね有効であった。	
		○ おおむね有効であった		
		▲ あまり有効でなかった		
		× 有効でなかった		
③ 事業の優先度 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、今後、優先度の高い事業と、優先度の低い事業は何か ※経常的及び任意的な事業の中から選出				
優先度 高い	事務事業		理由	
	9~14	地域公民館運営事業	生涯学習を進める拠点施設であり、市民の身近な学習と交流の場を確保するために重要な事業である。	
	17	社会体育団体体育成事業	市民の自主的かつ継続的なスポーツ活動を進めるために重要な事業である。	
	20	地域スポーツ振興事業	市民のスポーツを通じた健康づくりと交流を促進するために重要な事業である。	
	25	図書館管理運営事業	生涯学習を進める拠点施設であり、市民の自主的かつ自発的な生涯学習の場を確保するために重要な事業である。	
	30	家庭教育事業	子どもの成長過程の基礎となる重要な社会教育事業である。	
	31	芸術文化事業	市民の芸術文化活動を通じた交流及び自主的かつ継続的な活動を推進するために重要な事業である。	
	優先度 低い	事務事業		理由
		3~8	地域公民館管理事業	日常的な最小限の維持管理のための事業である。
		23	体育施設管理運営事業	日常的な最小限の維持管理のための事業である。
		24	社会体育用学校開放施設管理運営事業	日常的な最小限の維持管理のための事業である。
		29	高齢者教育事業	高齢者を対象とした各種事業の整理、再編が可能。
34		たちばな会館管理運営事業	日常的な最小限の維持管理のための事業である。	
35	網野教育会館管理運営事業	日常的な最小限の維持管理のための事業である。		



ACTION

改善	今後の施策展開をどうするか
	市民の生涯学習の拠点となる地域公民館及び身近な学習と交流の場となる地区公民館の推進体制の整備及び再編を進める。 市民一人ひとりが生きがいのある充実した人生を送るため、市民の多様なニーズに対応するさまざまな学習機会の提供を目指した生涯学習計画の策定を検討する。 市民の健康づくりや地域のスポーツ振興を図るため、社会体育施設、設備の充実及び適切な維持管理を行う。

平成22年度 施策評価 1次評価

施策名	歴史文化遺産の保全と活用
-----	--------------

担当部署	担当部署長の氏名
教育委員会事務局	吉岡喜代和

PLAN

総合計画(前期基本計画)

基本方針	(政策)	IV 生涯学習都市						
計画項目	(施策)	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用						
施策目的	(何を対象に、どのようにすることを目的としているか)	1 歴史資料館のネットワークとして既存の3資料館の特徴を活かしたネットワークを構築する。2 丹後王国の歴史文化の保存・発信に努めて、既存の資料館の整備充実を図る。3 文化財の保存と活用として、文化財の整理保存、発掘を通じて遺跡の整備を図り、各種の特別展示、企画展示などの展示会や文化財の講座、講演会を通じて文化財の普及啓発に努める。4 市史編さんを通じて、京丹後市民のアイデンティティの確立し、地域づくりや観光などにも活用する。						
めざす目標	「丹後王国」の情報発信の力を高めます	指標名	総合計画策定時(H17)	前期基本計画最終実績値	目標			
		丹後王国観光情報館(仮称)の整備	0カ所	H16	0カ所	H21	1カ所	H26
		文化財博士登録制度の設置・登録者数	0人	H16	34人	H21	100人	H26
※参考 後期基本計画	めざす目標	指標名	総合計画策定時(H17)	後期基本計画策定時	目標			
		「丹後王国」の情報発信の力を高めます	文化財博士登録制度の登録者数	0人	H16	34人	H20	100人
		京丹後市史の刊行	新規	-	0巻	H20	14巻	H26

DO

平成21年度実績

施策方針	事務事業	事務事業評価の結果						担当課
		H21決算額(千円)	内、一般財源(千円)	目標達成度	効率性	事業内容の方向性	事業規模の方向性	
1 歴史資料館のネットワーク	1 郷土資料館管理運営事業	2,781	2,745	▲	○	維持	拡大	文化財
	2 古代の里資料館管理運営事業	9,519	8,448	▲	○	維持	拡大	文化財
3 文化財の保存と活用	3 指定管理施設運営事業	7,318	7,318	○	○	維持	拡大	文化財
	4 文化財保護審議会委員設置事業	444	444	○	○	維持	維持	文化財
	5 文化財保護啓発事業	1,046	1,033	○	○	維持	拡大	文化財
	6 指定文化財等補助金	2,181	2,181	▲	○	維持	維持	文化財
	7 史跡等維持管理事業	2,326	2,088	○	○	維持	維持	文化財
	8 文化財整理事業	621	621	○	○	維持	維持	文化財
	9 遺跡整備事業	923	923	▲	○	見直し	拡大	文化財
	10 遺跡発掘調査事業	4,099	1,099	▲	○	見直し	維持	文化財
	11 稲葉家資料展示活用事業	578	578	○	○	維持	維持	文化財
4 市史編さんの取り組み	12 市史編さん事業	7,501	7,501	○	○	維持	維持	文化財
	計	39,337	34,979					

CHECK

①施策の達成度 施策目的・めざす目標に向け、施策がどの程度達成されているか							
○	<table border="1"> <tr> <td>◎ 予定以上に進んでいる</td> <td rowspan="4">理由</td> <td rowspan="4">平成21年度については、普及啓発事業として、資料館を拠点とした特別展、企画展を開催した。発掘調査においては網野銚子山古墳の3年間の発掘調査が完了した。京丹後市史編さん事業においては、2冊の資料編を刊行し、8つの専門部において調査を実施した。21年度は、所管の資料館等は20年度に比較して何れも入館者が減少した。資料館の普及啓発と広報宣伝等は今後の検討課題である。</td> </tr> <tr> <td>○ 予定どおり進んでいる</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている</td> </tr> <tr> <td>× 大幅に遅れている</td> </tr> </table>	◎ 予定以上に進んでいる	理由	平成21年度については、普及啓発事業として、資料館を拠点とした特別展、企画展を開催した。発掘調査においては網野銚子山古墳の3年間の発掘調査が完了した。京丹後市史編さん事業においては、2冊の資料編を刊行し、8つの専門部において調査を実施した。21年度は、所管の資料館等は20年度に比較して何れも入館者が減少した。資料館の普及啓発と広報宣伝等は今後の検討課題である。	○ 予定どおり進んでいる	▲ 少し遅れている	× 大幅に遅れている
◎ 予定以上に進んでいる	理由	平成21年度については、普及啓発事業として、資料館を拠点とした特別展、企画展を開催した。発掘調査においては網野銚子山古墳の3年間の発掘調査が完了した。京丹後市史編さん事業においては、2冊の資料編を刊行し、8つの専門部において調査を実施した。21年度は、所管の資料館等は20年度に比較して何れも入館者が減少した。資料館の普及啓発と広報宣伝等は今後の検討課題である。					
○ 予定どおり進んでいる							
▲ 少し遅れている							
× 大幅に遅れている							
②事業構成の有効性 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、平成21年度に実施した事務事業の構成が有効であったか							
○	<table border="1"> <tr> <td>◎ 有効であった</td> <td rowspan="4">理由</td> <td rowspan="4">平成21年度については、普及啓発事業として、京丹後史博士育成事業については、実際の文化財の鑑賞、歴史散策事業などの9講座を実施し、文化財セミナーなどの講演会や資料館において「丹後王国の精華」などの特別展示、企画展示を開催した。発掘調査においては遺跡の整備を前提にした網野銚子山古墳の発掘調査を実施し、整備のための史跡範囲の基礎資料が得られた。京丹後市史編さん事業においては、「峯山藩関係史料」「京丹後市の考古資料」の2冊の資料編を刊行し、刊行記念のシンポジウムも開催した。</td> </tr> <tr> <td>○ おおむね有効であった</td> </tr> <tr> <td>▲ あまり有効でなかった</td> </tr> <tr> <td>× 有効でなかった</td> </tr> </table>	◎ 有効であった	理由	平成21年度については、普及啓発事業として、京丹後史博士育成事業については、実際の文化財の鑑賞、歴史散策事業などの9講座を実施し、文化財セミナーなどの講演会や資料館において「丹後王国の精華」などの特別展示、企画展示を開催した。発掘調査においては遺跡の整備を前提にした網野銚子山古墳の発掘調査を実施し、整備のための史跡範囲の基礎資料が得られた。京丹後市史編さん事業においては、「峯山藩関係史料」「京丹後市の考古資料」の2冊の資料編を刊行し、刊行記念のシンポジウムも開催した。	○ おおむね有効であった	▲ あまり有効でなかった	× 有効でなかった
◎ 有効であった	理由	平成21年度については、普及啓発事業として、京丹後史博士育成事業については、実際の文化財の鑑賞、歴史散策事業などの9講座を実施し、文化財セミナーなどの講演会や資料館において「丹後王国の精華」などの特別展示、企画展示を開催した。発掘調査においては遺跡の整備を前提にした網野銚子山古墳の発掘調査を実施し、整備のための史跡範囲の基礎資料が得られた。京丹後市史編さん事業においては、「峯山藩関係史料」「京丹後市の考古資料」の2冊の資料編を刊行し、刊行記念のシンポジウムも開催した。					
○ おおむね有効であった							
▲ あまり有効でなかった							
× 有効でなかった							

③事業の優先度 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、今後、優先度の高い事業と、優先度の低い事業は何か ※経常的及び任意的な事業の中から選出				
評価	優先度 高い	事務事業	理由	
		2	古代の里資料館管理運営事業	「丹後王国」などの考古資料、歴史資料など°文化財の情報発信、普及啓発の拠点施設である
		5	文化財保護啓発事業	京丹後市の文化財に関する特別展、企画展を開催し、市史編さん事業などの調査を通じて明らかになった成果を文化財セミナー等などの講座により観光客、市民に知ってもらう事業で重要である
		10	遺跡発掘調査事業	「丹後王国」と称される遺跡の発掘調査を実施して、新たな成果が期待できると同時に、出土した遺物を資料館などで展示して活用し、また遺跡の整備などの基礎資料を得ることができる
		12	市史編さん事業	京丹後市史の編さん事業は、市民のアイデンティティの確立につながる重要な事業であると共に、調査成果を地域づくりや観光、教育活動に活用できる重要な事業である
	優先度 低い	事務事業	理由	
		4	文化財保護審議会委員設置事業	文化財保護行政にとって必要不可欠な機関であり、重要な役割を担うが、その事業趣旨の性格上、文化財保護の振興する上で、積極的な施策を展開する事業でない
		8	文化財整理事業	文化財の整理事業は、文化財を活用するための基礎資料づくりであり重要な作業である。しかしながら、事業趣旨から考えて普及啓発などと比較すると消極的な手法である
		9	遺跡整備事業	遺跡整備事業は、「丹後王国」の古代の隆盛を遺跡をとおして視覚的に体感するもので、極めて重要な事業であり、今後、整備をすすめる事業である。しかしながら、平成21年度においては、赤坂今井墳墓の崩落箇所改修と網野銚子古墳の草刈り等で事業費も少ない
11	稲葉家資料展示活用事業	豪商稲葉家の資料は、古文書を中心に写真、民具など多岐にわたる資料で、府下でも質量とも有数の資料で価値が高い。しかしながら、京丹後市全体の文化財という観点においては一部にすぎず、限られた資料である		



ACTION

今後の施策展開をどうするか	
改善	<p>市史編さん事業は年度別計画に従って、資料編、本文編を刊行する。平成22年度は資料編1冊、23年度は、資料編3冊、本文編1冊の刊行予定であり、計画どおりに実施することが必要である。京丹後市の文化財は特に「丹後王国」とも称される弥生時代～古墳時代にかけて考古資料、遺跡とも日本を代表する資料が数多い地域であり、歴史資料のみならず観光資料としての価値が高い。したがって観光サイドとの連携が事業展開、改善の有効な施策であり観光との連携を強める必要がある。次代を担う京丹後市の小学生、中学生にとって、京丹後市の文化財を学ぶことは故郷、地域を愛し、地域に誇りを持つことになる。従って、小学生、中学生を対象にした京丹後市の文化財等の副読本などの刊行が、改善の有効な施策の一つである。</p>